

平成30年度 第8回全体庁議（9月5日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(1) 日米共同訓練の実施について[総務部]
----	-------	--------------	------------------------

■ 提案・報告の趣旨

本年9月10日から実施予定の日米共同訓練における帯広駐屯地の使用に関し、訓練概要や帯広市の対応等について報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1 日米共同訓練の実施について

(1) 訓練の概要

- ① 帯広駐屯地の使用期間は、平成30年9月10日から29日まで
- ② MV-22(オスプレイ)6機及びCH-53(輸送ヘリ)4機の機体整備、離発着等に帯広駐屯地を使用
- ③ 離発着は基本的に訓練期間中、毎日行う予定
- ④ 離発着時間は、午前8時から最大で午後10時までで、夜間(日没後)に飛行する場合は、事前に市に連絡あり
- ⑤ 飛行場の周辺を周回する「場周経路」は、住宅密集地を極力避け、通常の自衛隊が使用する経路と同じ経路を使用予定
- ⑥ 帯広駐屯地への米軍の参加人数は未定

(2) 帯広市の主な対応

- ① 8月23日 北海道防衛局から説明を受け、防衛省による公表後、ホームページで周知
- ② 8月24日 総務委員会に報告
- ③ 8月28日 北海道防衛局長に要望書を提出
- ④ 8月30日 庁内連絡調整会議を設置し、北海道防衛局と要望事項等について協議開始

■ 今後のスケジュール

(日米共同訓練)

- ・ 平成30年9月10日～15日 訓練準備
- ・ 平成30年9月16日～23日 訓練（指揮機関訓練、機能別訓練、総合訓練）
訓練場所：北海道大演習場、矢臼別演習場、上富良野演習場
- ・ 平成30年9月24日～29日 整備、撤収等

■ 審議結果

帯広市として、市民の安全・安心の確保はもとより、市民生活に支障が生じないよう、北海道防衛局に最大限の配慮を求めるとともに、市民の不安をできる限り解消するため、情報発信に努めることを確認した。

■ その他、指摘事項等

※日米共同訓練は、9月6日に発生した北海道胆振東部地震により中止となった。